

2025年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ <u>社会学</u> ）
出題の意図	問1は、アメリカの DEI 政策と関連する社会学分野の動向を問う問題である。 問2は、量的調査法と質的調査法の基本的な知識を問う問題である。 問3は、社会学の学説史に関する基本事項を問う問題である。

2025年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 社会学B ）
出題の意図	問1では社会学・共生社会論の重要な概念に関する基礎知識を問うている。 問2（1）では質的研究の調査倫理に関する基礎知識を、（2）では量的研究に関する基礎知識を、（3）では社会調査法および共生社会論に関する基礎知識を問うている。

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 社会学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題1枚、解答用紙4枚を配付する。

問1、問2、問3（1）、問3（2）それぞれに解答用紙を1枚ずつ使用すること。解答用紙の冒頭に問番号を明記すること。

問1 DEI（Diversity, Equity, Inclusion）を促進する考え方、政策をめぐってアメリカ国内の政治や社会科学が揺れ動いている。これが社会学のどのような分野と関連するのかわを示しながら、その動向を説明しなさい。

問2 次の二つの設問に答えなさい。

- (1) ダミー変数とは何か。数値を含む具体例をあげて説明しなさい。
- (2) アクティブ・インタビューとは何かを述べたうえで、その長所と短所を説明しなさい。

問3 次の二つの設問に答えなさい。

- (1) ①～⑤から3つを選び、それぞれ200字以内の日本語で説明しなさい。

- ①同心円地帯理論
- ②獵官制
- ③理論的飽和
- ④機能集団
- ⑤認知的不協和

- (2) ⑥～⑨から2つを選び、それぞれ150 words 以内の英語で説明しなさい。

- ⑥Third Place
- ⑦Social Capital
- ⑧Impression Management
- ⑨Cultural Assimilation

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 社会学 B 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題1枚、解答用紙4枚を配付する。

「問1」は、解答用紙を2枚使用すること。「問2」は、解答用紙を2枚使用すること。解答用紙の冒頭に問番号を明記すること。

問1. 次の7つの用語から4つを選択し、それぞれについて、その用語の意味を200字程度で説明しなさい。

- ① ケイパビリティ・アプローチ
- ② リプロダクティブ・ライツ
- ③ インターセクショナルリティ
- ④ 脱医療化
- ⑤ 排外主義
- ⑥ 近隣効果
- ⑦ 同心円地帯理論

問2. 次の各問について解答しなさい。

- (1) 小学生に調査協力を依頼するインタビュー調査において、調査者が社会調査の倫理上、気をつけなければいけないことについて説明しなさい。
- (2) 順序尺度の変数を間隔尺度と読み替えて計量分析することの問題点について、具体例を挙げて説明しなさい。
- (3) 調査員効果とはどのような意味か、社会的マイノリティの人々を対象として質的調査を実施する場合を想定して説明しなさい。